

アジサイ斑点細菌病の発生確認と ポリカーバメート剤散布の防除効果

研究のねらい

近年、県内のアジサイ生産において、出荷前の鉢物アジサイに葉枯れや斑点を生じる細菌による病害が発生して問題となっています。本病害は病原菌や発生生態が明らかになっていないため、有効な防除方法も確立していません。

そこで、本病を引き起こす病原菌の同定を行い、宿主範囲（病原菌が寄生して病気を引き起こす植物の種類）を明らかにするとともに、薬剤を用いた防除方法を検討しました。

- 2 本病による症状は、葉の奇形・斑点、水孔周辺の褐変や水浸状病斑など多様です（写真）。
- 3 病原菌は同一施設内で栽培が想定されるシクラメンには感染しません。また、アジサイ（*Hydrangea macrophylla*）以外にメロンに感染します。
- 4 ポリカーバメート剤（商品名：ピスダイセン水和剤）600倍液を9月～11月に3回、予防的に散布することで本病害による被害を軽減できます（図）。

技術の特徴

- 1 群馬県の鉢物アジサイで発生した細菌病は *Acidovorax valerianellae*（アシドボラックス バレリアネラ）によるアジサイ斑点細菌病でした。

今後の取り組み

今後も、県内で問題となっている他の病害について、発生実態や防除方法を検討する予定です。

（執筆者：池田 健太郎）



写真 葉の奇形・斑点症状

品種“フェアリーアイ”に3回散布

ポリカーバメート剤を予防的に散布することで本病害による被害を軽減できます。

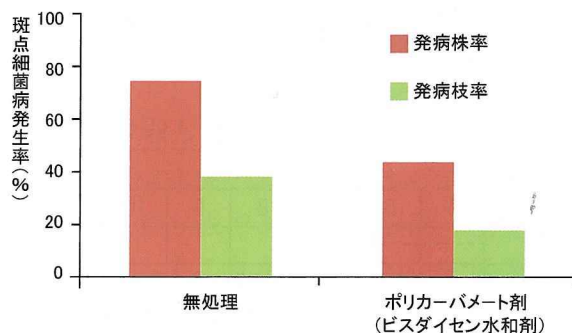


図 薬剤による防除効果